

福県医発第1078号(地)

平成20年 8月 9日



各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会

会長 横 倉 義 武

(公 印 省 略)

日本糖尿病学会「糖尿病運動療法・運動処方確立のための
学術調査研究」アンケートの実施について

標記の件につきまして、日本医師会より別紙のとおり協力依頼がありましたので、ご連絡申し上げます。

さて、日本医師会は日本糖尿病学会等と日本糖尿病対策推進会議を設立して糖尿病対策推進活動を行っておりますが、今般、日本糖尿病学会において、わが国における糖尿病運動療法の現状を把握することを主たる目的とし、標記の「糖尿病運動療法・運動処方確立のための学術調査研究」委員会を設置し、糖尿病運動療法に関するアンケートを実施することとなり、日本医師会も共同企画として協力しております。

つきましては、平成20年8月7日開催の本会第14回全理事会において協議の結果、本調査に協力することといたしましたので、貴会におかれましても本調査についてご了知いただくとともに、貴会会員より問合せ等ありましたら、趣旨をご説明いただき、自主的協力を促していただきますよう、ご高配方よろしくお願い申し上げます。

なお、本調査は、日本医師会会員（内科医）、及び日本糖尿病学会専門医、各600名の合計1,200名を無作為に抽出しており、調査票等は直接対象者に送付されておりますことを申し添えます。

(地Ⅲ120)
平成20年8月1日

都道府県医師会
担当理事 殿

日本医師会
常任理事 今 村



日本糖尿病学会「糖尿病運動療法・運動処方確立のための
学術調査研究」アンケートの実施について

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ご高承のとおり、日本医師会は日本糖尿病学会等と日本糖尿病対策推進会議を設立して、糖尿病対策推進活動を行っております。

今般、日本糖尿病学会では、わが国における糖尿病運動療法の現状を把握することを主たる目的とし、「糖尿病運動療法・運動処方確立のための学術調査研究」委員会を設置し、糖尿病運動療法に関するアンケートを実施することとなりました。

本アンケートにつきまして、本会では共同企画として協力しております。

調査対象は、日本医師会会員（内科医）、及び日本糖尿病学会専門医、各600名の合計1,200名を無作為に抽出しており、対象者に調査票等が直接送付されています。

つきましては、貴会におかれましても本調査についてご了知いただきますよう、よろしくお願いいたします。



平成20年 7 月吉日

日本医師会会員（内科医）各位

日本糖尿病学会前理事（功労評議員）
「糖尿病運動療法・運動処方確立のための学術調査研究班」

委員長 佐藤 祐造

（愛知学院大学心身科学部長・健康科学科教授・名古屋大学名誉教授）

日本医師会常任理事 今村 聡

「糖尿病運動療法・運動処方確立のための学術調査研究」 ご協力について（ご依頼）

拝啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、わが国の糖尿病患者における運動療法は、食事療法、薬物療法と比べて実施が不十分であることが従来から指摘されてきました。そこで、日本糖尿病学会では、わが国における糖尿病運動療法の現状を把握し、現場での実施を推進することを目的として、「糖尿病運動療法・運動処方確立のための学術調査研究」委員会を平成19年5月に設置しました。

本委員会は、①糖尿病運動療法に関する全国的規模の調査を実施して、現状を把握する、②その結果に基づき、全ての糖尿病患者に適応できる「運動処方ガイド」を作成する、を最終的なゴールとしております。これらの結果は、本年度から開始されている特定健診・特定保健指導にも貢献しうるものと思われまます。

本プロジェクトの一環として、本委員会はまず、糖尿病運動療法の実施状況につき、無作為に抽出された糖尿病専門医ならびに専門医以外の内科医各600名、合計1,200名を対象として、アンケート調査を行うことといたしました。

日本医師会は、日本糖尿病学会とは「日本糖尿病対策推進会議」をはじめとして協力関係にありますが、本調査研究に関しても共同企画として実施することとなりました。

つきましては、ご多用中のところ誠に恐縮ですが、同封のアンケート用紙にご記入の上、平成20年月 日迄にご返送賜りたくよろしくお願い申し上げます。

なお、本調査は無記名で行われ、個人は特定できないようにして処理することを申し添えます。

末筆になりましたが、先生の尚一層のご発展を心よりお祈り申し上げます。

敬具

追伸 本調査の集計結果をご希望の先生は、返信用封筒の差出人欄に住所、氏名をご記名いただければ、後ほどお送りさせていただきます。（アンケートの集計自体は無記名で行います）

この調査についての問い合わせ先：

愛知学院大学心身科学部長・健康科学科教授 佐藤祐造

〒470-0195 愛知県日進市岩崎町阿良池12

TEL：0561-73-1111 内3431

FAX：0561-73-1142

Email：satoy@dpc.agu.ac.jp

平成20年 7 月吉日

日本糖尿病学会専門医各位

日本糖尿病学会前理事（功労評議員）
「糖尿病運動療法・運動処方確立のための学術調査研究班」

委員長 佐藤 祐造

（愛知学院大学心身科学部長・健康科学科教授・名古屋大学名誉教授）

日本医師会常任理事 今村 聡

「糖尿病運動療法・運動処方確立のための学術調査研究」 ご協力について（ご依頼）

拝啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、わが国の糖尿病患者における運動療法は、食事療法、薬物療法と比べて実施が不十分であることが従来から指摘されてきました。そこで、日本糖尿病学会では、わが国における糖尿病運動療法の現状を把握し、現場での実施を推進することを目的として、「糖尿病運動療法・運動処方確立のための学術調査研究」委員会を平成19年5月に設置しました。

本委員会は、①糖尿病運動療法に関する全国規模の調査を実施して、現状を把握する、②その結果に基づき、全ての糖尿病患者に適応できる「運動処方ガイド」を作成する、を最終的なゴールとしております。これらの結果は、本年度から開始されている特定健診・特定保健指導にも貢献しうものと思われま。

本プロジェクトの一環として、本委員会ではまず、糖尿病運動療法の実施状況につき、無作為に抽出された糖尿病専門医ならびに専門医以外の内科医各600名、合計1,200名を対象として、アンケート調査を行うことといたしました。

日本糖尿病学会と日本医師会とは「日本糖尿病対策推進会議」をはじめとして協力関係にありますが、本調査研究に関しても共同企画として実施することとなりました。

つきましてはご多用中のところ誠に恐縮ですが、同封のアンケート用紙にご記入の上、平成20年月 日までにご返送賜りたくよろしくお願い申し上げます。

なお、本調査は無記名で行われ、個人は特定できないようにして処理することを申し添えます。

末筆になりましたが、先生の尚一層のご発展を心よりお祈り申し上げます。

敬具

追伸 本調査の集計結果をご希望の先生は、返信用封筒の差出人欄に住所、氏名をご記名いただければ、後ほどお送りさせていただきます。（アンケートの集計自体は無記名で行います）

この調査についての問い合わせ先：

愛知学院大学心身科学部長・健康科学科教授 佐藤祐造

〒470-0195 愛知県日進市岩崎町阿良池12

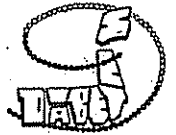
TEL：0561-73-1111 内3431

FAX：0561-73-1142

Email：satoy@dpc.agu.ac.jp



糖尿病運動療法に関するアンケート



問1 年齢を教えてください。

歳

問2 性別を教えてください。

1. 男性

2. 女性

問3 主に従事している施設の所在地はどこですか？ 都道府県名でお答え下さい。

都道府県名：

問4 主に従事している施設はどれに相当しますか？（ひとつ選んでください）

1. 診療所
2. 病院（医育機関附属の病院を除く）
3. 医育機関の臨床系（大学病院等の医育機関附属病院等）
4. 医育機関の臨床系以外（基礎医学研究者等）
5. 介護老人保健施設
6. 医育機関以外の教育機関または研究機関
7. 行政機関
8. その他（ ）

問5 問4で1、2、3と答えた方へ 貴施設の病床数を教えてください。

1. 病床なし
2. 20床未満
3. 20床以上50床未満
4. 50床以上100床未満
5. 100床以上200床未満
6. 200床以上500床未満
7. 500床以上

問6 主に従事している業務はどれに相当しますか？（ひとつ選んでください）

1. 医療施設の院長・理事長
2. 勤務医
3. その他（ ）

問7 貴施設では糖尿病専門外来を実施していますか？

1. 専門外来を実施している（週 回）
2. 専門外来はない（糖尿病以外の患者と同じ枠で診ている）
3. 外来診療は行っていない
4. その他（ ）

問8 貴施設では糖尿病教育入院を実施していますか？（入院設備がない施設は、問9へ進んでください）

1. 実施している
2. 実施していない

問9 主に従事している施設と、それ以外の施設での診療を含めて、1週間に何人くらい患者を診察していますか？（糖尿病以外も含む、外来のみ）

1. 5人未満
2. 5人以上20人未満
3. 20人以上50人未満
4. 50人以上100人未満
5. 100人以上200人未満
6. 200人以上

問10 その中で糖尿病患者の割合は何パーセントぐらいですか？

1. ほとんどいない（10%未満）
2. 10%以上30%未満
3. 30%以上50%未満
4. 50%以上70%未満
5. 70%以上90%未満
6. ほぼ全員が糖尿病である（90%以上）

問11 糖尿病治療内容を教えてください。おおよその数値（パーセント）を記入してください。

インスリン治療	%
インスリンと経口血糖降下薬の併用	%
経口血糖降下薬治療	%
食事療法・運動療法のみ	%
合 計	100%

問12 糖尿病患者に食事療法を指導していますか？（指導は医師以外でもかまいません）

[1] 初診患者に対して

1. ほぼ全員に指導している（90%以上）
2. 70%～90%未満に指導している
3. 50%～70%未満に指導している
4. 30%～50%未満に指導している
5. 10%～30%未満に指導している
6. ほとんど指導していない（10%未満）

[2] 再来患者に対して

1. 毎回食事摂取状況を確認して指導している
2. 3か月に1回くらい食事摂取状況を確認して指導している
3. 3～6か月に1回くらい食事摂取状況を確認して指導している
4. 1年に1回くらい食事摂取状況を確認して指導している
5. ほとんどしていない

問13 貴施設の食事療法指導システムをお聞きます。あてはまる番号を選んでください（複数回答可）

1. 食事指導箋を作成して指導している
2. 食事指導箋は作成していないが、個別に指導している
3. 集団指導を実施している
4. 特にシステム化した食事指導はしていない
5. その他（

）

問14 糖尿病患者に運動療法を指導していますか？（指導は医師以外でもかまいません）

〔1〕初診患者に対して

1. ほほ全員に指導している (90%以上)
2. 70%～90%未満に指導している
3. 50%～70%未満に指導している
4. 30%～50%未満に指導している
5. 10%～30%未満に指導している
6. ほとんど指導していない (10%未満)

[2] 再来患者に対して

1. 毎回運動実施状況を確認して指導している
2. 3か月に1回くらい運動実施状況を確認して指導している
3. 3～6か月に1回くらい運動実施状況を確認して指導している
4. 1年に1回くらい運動実施状況を確認して指導している
5. ほとんどしていない

問15 貴施設の運動療法指導システムをお聞きます。あてはまる番号を選んでください（複数回答可）

1. 運動指導箋を作成して指導している
2. 運動指導箋は作成していないが、個別に指導している
3. 集団指導を実施している
4. 特にシステム化した運動指導はしていない
5. その他（

問16 日頃の運動指導状況をお尋ねします。重篤な合併症のない2型糖尿病患者が初診で来院した場合、この患者に対して先生はどのように指導しますか？ [1] ～ [5] の項目についてお答えください。

[1] 「種目」を指示しますか？

1. 種目を指示する
2. 種目は指示しない (→ [2] ～)

「指示する」場合、どんな種目を指示することが多いですか？（複数回答可）

1. 歩行
2. ジョギング
3. 水泳
4. 自転車（エルゴメーターを含む）
5. ゴルフ
6. 乗馬様他動的運動
7. ウエイトトレーニング
8. その他（

[2] 「強度」を指示しますか？

1. 強度を指示する
2. 強度は指示しない (→ [3] ~)

「指示する」場合、強度の指示方法はどれですか（複数回答可）

1. ボルグ指数（自覚的運動強度）で指示する
2. 心拍数を指示する
3. 乳酸性閾値（LT）や無酸素性閾値（AT）を測定して決める
4. その他（

[3] 「頻度」を指示しますか？

1. 頻度を指示する
2. 頻度は指示しない (→ [4] へ)

「指示する」場合、具体的な頻度はどれですか

1. 1日に2回以上
2. 毎日1回
3. 1週間に5回程度
4. 1週間に3回程度
5. 1週間に1回
6. その他 ()

[4] 「1回の運動時間」を指示しますか？

1. 運動時間を指示する
2. 運動時間は指示しない (→問17へ)

「指示する」場合、運動時間は以下のどれですか

1. 1回15分まで
2. 1回15分から30分まで
3. 1回30分から60分まで
4. 1回1時間を超える
5. その他 ()

問17 貴施設には以下の資格を持っている職員（医師を含む）がいますか？ （複数回答可）

1. スポーツ医
 - a. 日本医師会認定健康スポーツ医
 - b. 日本整形外科学会認定スポーツ医
 - c. 日本体育協会公認スポーツドクター
2. 糖尿病療養指導士（地域糖尿病療養指導士を含む）
3. 健康運動指導士
4. 健康運動実践指導者
5. ヘルスケア・トレーナー
6. ヘルスケア・リーダー
7. スポーツリーダー
8. スポーツプログラマー
9. エアロビック指導員（日本体育協会公認）
10. その他運動関係の資格 ()

問18 貴施設での運動指導スタッフについてお聞きします。運動指導スタッフがいる場合は [1] に、運動指導スタッフがいらない場合は [2] にお答えください。

[1] 運動指導スタッフがいる

1. 運動療法だけを指導する専任スタッフがいる

その方が持っている資格および職種を以下から選んでください（複数回答可）

- | | |
|----------------------------|----------------|
| 1. 糖尿病療養指導士（地域糖尿病療養指導士を含む） | |
| 2. 保健師 | 3. 管理栄養士・栄養士 |
| 4. 看護師 | 5. 薬剤師 |
| 6. 理学療法士 | 7. 健康運動指導士 |
| 8. 健康運動実践指導者 | 9. ヘルスケア・トレーナー |
| 10. ヘルスケア・リーダー | 11. スポーツリーダー |
| 12. スポーツプログラマー | 13. エアロビック指導員 |
| 14. 資格は持っていないが専任のスタッフがいる | |
| 15. その他（ | ） |

2. 専任スタッフはいないが、運動指導を主に担当するスタッフがいる

運動指導を主に担当している職種および資格を以下から選んでください（複数回答可）

- | | |
|-------------------------------|----------------|
| 1. 糖尿病療養指導士（地域糖尿病療養指導士を含む） | |
| 2. 保健師 | 3. 管理栄養士・栄養士 |
| 4. 看護師 | 5. 薬剤師 |
| 6. 理学療法士 | 7. 健康運動指導士 |
| 8. 健康運動実践指導者 | 9. ヘルスケア・トレーナー |
| 10. ヘルスケア・リーダー | 11. スポーツリーダー |
| 12. スポーツプログラマー | 13. エアロビック指導員 |
| 14. 資格は持っていないが主に担当しているスタッフがいる | |
| 15. その他（ | ） |

[2] 運動指導スタッフはいない

- | | |
|--|---|
| 1. 看護師や栄養士などが適宜指導している（運動指導担当スタッフは決めていない） | |
| 2. 診察時に医師が指導するのみ | |
| 3. 運動療法は指導していない | |
| 4. その他（ | ） |

問19 運動療法の実施場所としてスポーツ施設等を利用していますか？（複数回答可）

- | | |
|--------------------------|---|
| 1. 施設に併設のスポーツ施設を使用している | |
| 2. 他のスポーツ施設へ紹介している | |
| 3. スポーツ施設は特定しないが利用を勧めている | |
| 4. 利用したいが適当なスポーツ施設がない | |
| 5. スポーツ施設を利用する必要性を感じない | |
| 6. その他（ | ） |

問20 運動療法指導を行うにあたって問題に感じる点は何ですか？（複数回答可）

1. 診療報酬に反映しない
2. 指導に十分な時間がとれない
3. 適切な運動指導者がいない
4. 糖尿病患者用の適切な運動指導ガイドラインがない
5. 運動指導する施設や設備がない
6. 指導しても患者が実行しない
7. 運動時に事故が発生する危険がある
8. 運動療法の効果に疑問を持っている
9. その他（

問21 患者が運動療法を実施しない場合、その理由は何だと思われますか？（複数回答可）

1. 患者が糖尿病のことを理解していない
2. 患者が運動の効果を理解していない
3. 患者には運動を続ける意欲が乏しい
4. 患者は運動が好きでない
5. 患者は運動する時間がとれない
6. 適切な運動指導者がいない
7. 運動する場所がない
8. 気候が運動に適していない（暑い、寒い、雪が多い、など）
9. その他（

問22 糖尿病運動療法の今後のあるべき姿についてお書きください。

問23 運動療法に関して日本糖尿病学会へご意見やご要望がありましたらご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

日本糖尿病学会糖尿病運動療法・運動処方確立のための調査研究委員会
日本医師会